

3	午 前
---	-----

(10 時 00 分～12 時 00 分)

問 題

- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午前の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

シール貼付欄	 0A-0001	受験番号	0	A	-	0	0	0	1	氏名	心 理 花 子
--------	---	------	---	---	---	---	---	---	---	----	---------

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマーク

すればよい。

解答用紙 A の場合

1	①	②	③	④
1	①	●	③	④

解答用紙 B の場合

1	1
①	①
②	●
③	③
④	④

【例 2】我が国における現在の元号として、正しいものを 1 つ選べ。

① 寛永 正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。

② 元禄 解答用紙 A の場合 解答用紙 B の場合

③ 昭和

④ 大化

⑤ 令和

2	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

2	①	②	③	④	●
---	---	---	---	---	---

2	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

→

2	①	②	③	④	●
---	---	---	---	---	---

【例 3】次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを 2 つ選べ。

① 川崎市 正解は③と④であるから解答用紙の③と④にマークすればよい。

② 倉敷市 解答用紙 A の場合 解答用紙 B の場合

③ 仙台市

④ 高松市

⑤ 北九州市

3	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

3	①	②	●	●	⑤
---	---	---	---	---	---

3	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

→

3	①	②	●	●	⑤
---	---	---	---	---	---

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●○●●●● (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。

5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問1 要支援者と公認心理師の関係について、適切なものを1つ選べ。

- ① 心理療法の面接時間は、要支援者のニーズに合わせてその都度変えるのが良い。
- ② 投薬が必要となり、精神科に紹介したケースも、必要であれば心理的支援を継続する。
- ③ 知らない人に対して気後れして話ができないという友人の母親のカウンセリングを引き受ける。
- ④ 大学附属の心理相談室で新規ケースのインテーク面接を行う場合、受理するかどうかは自分一人で決める。
- ⑤ 学校内で自殺者が出た場合の緊急介入時には、事実を伝えるのは亡くなった生徒と親しかった少数のみに限定するのが原則である。

問2 統合失調症の症状が増悪したクライアントへの公認心理師の介入について、適切なものを1つ選べ。

- ① 症状増悪時は、心理的支援を行わない。
- ② 幻聴に関して、幻覚であることを自覚させる。
- ③ 緊張病性昏迷では、身体管理が必要となる可能性があることを家族に伝える。
- ④ 作為体験によるリストカットは、ためらい傷程度であれば特に緊急性はない。
- ⑤ 服薬を拒否するクライアントに対して、薬は無理に服薬しなくてよいと伝える。

問3 自殺予防や自殺のリスク評価について、正しいものを1つ選べ。

- ① 文化的・宗教的な信条は、自殺のリスクに関連しない。
- ② 自殺念慮に具体的な計画があると、自殺のリスクが高い。
- ③ 家族や身近な人に自殺者がいても、自殺のリスクが高いとは言えない。
- ④ 自殺予防のための情報提供などの普及啓発は、自殺の二次予防として重要である。
- ⑤ 自殺手段や自殺が生じた場所について繰り返し詳しく報道することは、自殺予防になる。

問4 ある医療機関で入院患者が自殺し、3日後に同じ病棟の患者が続けて自殺した。この病棟における自殺のポストベンションについて、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 第一発見者のケアを優先する。
- ② 患者の担当以外の病棟スタッフは対象にならない。
- ③ 自殺の原因を特定し、病棟の問題を解決することが目的である。
- ④ 入院患者と医療スタッフが当該自殺に関する率直な感情を表現する機会を設ける。
- ⑤ 守秘義務のため、亡くなった患者と親しかった他の患者には自殺について伝えない。

問 5 遊戯療法と最も関係が深い人物として、正しいものを1つ選べ。

- ① A. Ellis
- ② A. Freud
- ③ A. T. Beck
- ④ H. A. Murray
- ⑤ J. B. Watson

問 6 奥行きの知覚における両眼性の手がかりとして、正しいものを1つ選べ。

- ① 陰影
- ② 輻輳
- ③ 重なり
- ④ 線遠近法
- ⑤ きめの勾配

問7 統計的仮説検定の説明として、正しいものを1つ選べ。

- ① t検定では、自由度が大きいほど、帰無仮説の上側確率に基づく棄却の限界値は小さい。
- ② 2つの条件の平均に有意な差が認められない場合、それらの平均には差がないといえる。
- ③ K. Pearson の相関係数が0.1 % 水準で有意であった場合、2つの変数間に強い相関があるといえる。
- ④ 対応のない2群のt検定では、各群の標準偏差が大きいほど、有意な差があるという結果が生じやすい。
- ⑤ K. Pearson の相関係数の有意性検定では、サンプルサイズが小さいほど、帰無仮説の上側確率に基づく棄却の限界値は小さい。

問8 心理学の実験において、「XがYに及ぼす影響」の因果的検討を行うとき、正しいものを1つ選べ。

- ① Xを剰余変数という。
- ② Yを独立変数という。
- ③ 研究者があらかじめ操作するのはYである。
- ④ Xは、値又はカテゴリーが2つ以上設定される。
- ⑤ 結果の分析には、XとYの相関を求めるのが一般的である。

問9 100 g の重さの知覚における弁別閾を測定したところ 10 g であった。このときに予測される 400 g の重さの知覚における弁別閾として、正しいものを1つ選べ。

- ① 2.5 g
- ② 10 g
- ③ 13.01 g
- ④ 20 g
- ⑤ 40 g

問10 E. C. Tolman は、ラットの迷路学習訓練において、訓練期間の途中から餌報酬を導入する実験を行っている。この実験により明らかになったこととして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 回避学習
- ② 観察学習
- ③ 初期学習
- ④ 潜在学習
- ⑤ 逃避学習

問11 N. Chomsky の言語理論の立場として、正しいものを1つ選べ。

- ① 言語発達のメカニズムは、遺伝的に決定されている。
- ② どのような言語にも共通する普遍文法は存在しない。
- ③ 言語の文法は、ヒト以外の動物種にも認めることができる。
- ④ 句構造規則によって作られた文の表層構造は、変形規則によって深層構造となる。
- ⑤ 脳の中にある言語獲得装置は、報酬と罰の経験によって文法を獲得する働きを持つ。

問12 質問紙法を用いたパーソナリティ検査について、正しいものを1つ選べ。

- ① 検査得点の一貫性のことを妥当性という。
- ② α 係数は、検査項目の数が多いほど、低い値をとる。
- ③ 再検査法では、2時点の検査得点間の相関係数を用い、検査の安定性をみる。
- ④ 検査が測定しようとしているものを正しく測定できている程度のことを信頼性という。
- ⑤ 検査得点の分散に占める真の得点の分散の割合が高いほど、検査結果の解釈が妥当になる。

問13 摂食行動を制御する分子について、正しいものを1つ選べ。

- ① グレリンは、食欲を抑制する。
- ② レプチンは、食欲を促進する。
- ③ オレキシンは、食欲を抑制する。
- ④ 肥満症では、血液中のグレリン濃度が上昇する。
- ⑤ 肥満症では、血液中のレプチン濃度が上昇する。

問14 自己中心性バイアスに該当する現象として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ハロー効果
- ② スリーパー効果
- ③ 自己関連づけ効果
- ④ フレーミング効果
- ⑤ スポットライト効果

問15 ケース・アドボカシーの説明として、正しいものを1つ選べ。

- ① 患者が、医療側の説明を理解し、同意し、選択すること
- ② 医療側が、患者に対して行おうとしている治療について十分な説明を行うこと
- ③ 障害のある子どもと障害のない子どもを分けずに、特別な教育的ニーズをもつ子どもを支援すること
- ④ ある個人や家族がサービスの利用に際して不利益を被らないように、法的に保障された権利を代弁・擁護すること
- ⑤ 障害者が社会の中で差別を受けることなく、権利の平等性を基盤にして、一般社会の中に正當に受け入れられていくこと

問16 精神分析理論の防衛機制に関する実験的研究の結果を基盤に発展した心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① SCT
- ② TAT
- ③ MMPI
- ④ P-F スタディ
- ⑤ ロールシャッハ・テスト

問17 公認心理師が心理相談での記録や報告を行う際に留意することとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 病院からの紹介状への返事は、クライアントには見せない。
- ② 守秘義務があるため、面接内容は自身の上司には報告しない。
- ③ 録音は、クライアントを刺激しないために気づかれないように行う。
- ④ 心理検査の報告は、検査を依頼した職種にかかわらず専門用語を使って書く。
- ⑤ インテーク面接の記録には、観察事項に基づいた面接時の印象も併せて記録する。

問18 心身症に関連した概念について、正しいものを1つ選べ。

- ① 慢性疼痛患者には、抗うつ剤は無効である。
- ② 進学や結婚は、気管支喘息の増悪に関与しない。
- ③ タイプA型行動パターンは、消化性潰瘍のリスク要因である。
- ④ 本態性高血圧症が心理的ストレスで悪化している場合は、心身症と考える。
- ⑤ アレキシサイミア〈失感情症〉とは、以前楽しめていた活動に対して楽しめない状態を意味する。

問19 過敏性腸症候群〈IBS〉について、正しいものを1つ選べ。

- ① 感染性腸炎は、発症と関連しない。
- ② 内臓痛覚閾値の低下が認められる。
- ③ 我が国の有病率は、約2％である。
- ④ プロバイオティクスは、有効ではない。
- ⑤ 下痢型 IBS は女性に多く、便秘型 IBS は男性に多い。

問20 介護保険が適用されるサービスとして、正しいものを1つ選べ。

- ① 配食サービス
- ② 精神科訪問看護
- ③ 介護ベッドの購入
- ④ 住宅型有料老人ホーム
- ⑤ 通所リハビリテーション

問21 T. Kitwood の提唱した認知症に関するパーソンセンタード・ケアの考え方について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 問題行動を示したときは、効率的に管理しなければならない。
- ② ケアで重要なことは、介護者自身の不安や弱さなどは考慮せず、理性的に行うことである。
- ③ 認知症の治療薬が開発されるまで、専門家として認知症の人にできることはほとんどない。
- ④ 認知症は、第一の視点として、中枢神経系の病気としてよりも障害としてみるべきである。
- ⑤ ケアは、安全な環境を提供し、基本的ニーズを満たし、身体的ケアを与えることが中心となる。

問22 Alzheimer 型認知症について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ症状が起こる。
- ② 見当識は保持される。
- ③ 近時記憶障害は目立たない。
- ④ 具体的な幻視が繰り返し出現する。
- ⑤ 注意や明晰さの著明な変化を伴う認知の変動がみられる。

問23 児童の社会的養護における家族再統合について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 家庭復帰が困難な子どもは対象ではない。
- ② 児童福祉施設は、家族再統合には積極的に関与しない。
- ③ 家庭裁判所は、申立てがあった場合、直接保護者に適切な治療や支援を受けることを命令できる。
- ④ 子どもが、家族の歴史や事情を知った上で、肯定的な自己イメージを持つことができるよう支援する。
- ⑤ 施設や里親などにおける子どもの生活が不安定になるため、分離中の実親との交流は、原則として控える。

問24 学習者が自分の目標を決め、その目標を達成するために自らの計画を立て、実行段階で思考、感情及び行為をコントロールし、実行後に振り返り、自らの学習行動を評価するプロセスとして、正しいものを1つ選べ。

- ① 観察学習
- ② 自己調整学習
- ③ 認知的徒弟制
- ④ 古典的条件づけ
- ⑤ 有意味受容学習

問25 学校心理学における心理教育的援助サービスの考え方について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 心理面の援助を中心に行う。
- ② スクールカウンセラーが単独で援助する。
- ③ スクールカウンセラーに援助を求める子どもを対象とする。
- ④ 非行をする子どもなど、援助ニーズの高い子どもを対象とする。
- ⑤ スクールカウンセリング活動は、学校教育の一環として位置づけられる。

問26 構成的グループエンカウンターの特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① グループを運営するリーダーを決めずに実施する。
- ② 参加者の内面的・情動的な気づきを目標としていない。
- ③ 特定の課題設定ではなく、参加者は自由に振る舞える。
- ④ レディネスに応じて、学級や子どもの状態を考慮した体験を用意できる。
- ⑤ 1回の実施時間を長くとりなくてはいけないため、時間的な制約のある状況には向かない。

問27 事業場における労働者のメンタルヘルスケアについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 労働者は、自己保健義務を負っている。
- ② 労働者の主治医が中心となって推進する。
- ③ 人事労務管理スタッフは、関与してはならない。
- ④ 産業医の中心的な役割は、事業場内で診療を行うことである。
- ⑤ 対象範囲を、業務に起因するストレスに限定することが大切である。

問28 F. Herzberg の2要因理論に関する説明として、正しいものを1つ選べ。

- ① 達成動機は、接近傾向と回避傾向から構成される。
- ② 職場の出来事で満足を与える要因を達成欲求という。
- ③ 分配の公正と手続の公正は、仕事への動機づけを高める。
- ④ 職場での満足を感じる要因は、仕事への動機づけを高める。
- ⑤ 職場の出来事で不満足につながる要因をバーンアウトという。

問29 糖尿病について、正しいものを1つ選べ。

- ① 糖尿病は、1型から2型に移行することが多い。
- ② 糖尿病の運動療法には、無酸素運動が有効である。
- ③ 2型糖尿病患者に、血糖自己測定〈SMBG〉は不必要である。
- ④ 非定型抗精神病薬の中には、糖尿病患者に使用禁忌の薬がある。
- ⑤ 健診でHbA1c値が6.8％であった場合は、糖尿病の可能性は低い。

問30 甲状腺機能低下症にみられる症状について、正しいものを1つ選べ。

- ① 下痢
- ② 頻脈
- ③ 眼球突出
- ④ 傾眠傾向
- ⑤ 発汗過多

問31 抗精神病薬を長期間投与された患者に多くみられる副作用のうち、舌を突出させたり、口をもぐもぐと動かしたりする動きが特徴的な不随意運動として、正しいものを1つ選べ。

- ① バリズム
- ② アカシジア
- ③ ジストニア
- ④ ジスキネジア
- ⑤ ミオクローヌス

問32 医療法で、「高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有すること」が要件として定められている病院として、正しいものを1つ選べ。

- ① 救急病院
- ② 精神科病院
- ③ 特定機能病院
- ④ 地域医療支援病院
- ⑤ 臨床研究中核病院

問33 公認心理師の業務について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 必要に応じて、他の保健医療の専門家と協力する。
- ② 心理療法の料金については、心理療法を始める段階で合意しておく必要がある。
- ③ 心理療法の効果に焦点を当て、限界については説明を行わず、心理療法を開始する。
- ④ 心理的アセスメントには、心理検査の結果だけではなく、関与しながらの観察で得た情報も加味する。
- ⑤ クライアントが、被虐待の可能性が高い高齢者の場合は、被害者保護のために関係者との情報共有を行う。

問34 対人援助職のセルフケアと自己点検において重要な感情労働について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 感情労働は、第三の労働形態である。
- ② 感情労働は、A. Hochschild によって定義された概念である。
- ③ 感情労働とは、職業上、自己の感情をコントロールすることが要求される労働のことである。
- ④ 感情労働における深層演技とは、クライアントの感情を無意識的に自分の感情として感じることである。
- ⑤ 感情労働における表層演技は、自らの感情とは不一致でも他者に表出する感情を望ましいものにしようとするものである。

問35 専門職連携を行う際の実践能力として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 自分の職種の思考、行為、感情及び価値観について省みることができる。
- ② 他の職種の思考、行為、感情及び価値観について理解することができる。
- ③ 他の職種との関係の構築、維持及び成長を支援及び調整することができる。
- ④ 他の職種の役割を理解し、自分の職種としての役割を全うすることができる。
- ⑤ 患者の意向よりも、他の職種との間での共通の目標を最優先にして設定することができる。

問36 乳児期の認知発達に関する研究手法である馴化・脱馴化法について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 乳児の弁別能力の発達を調べることができる。
- ② 吸てつ〈sucking〉反応の変化を指標とすることができる。
- ③ 刺激に対する注視時間の回復を指標とすることができる。
- ④ 乳児の再認記憶の有無を確かめるために使うことができる。
- ⑤ 実験手法の1つとして、乳児に対して2つの刺激を同時に対呈示することができる。

問37 L. S. Vygotsky の発達理論に含まれる概念として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 内言
- ② 自己中心性
- ③ 精神内機能
- ④ 高次精神機能
- ⑤ 発達の最近接領域

問38 インテーク面接におけるアセスメントについて、不適切なものを1つ選べ。

- ① クライエントの生活における適応状態を確認する。
- ② 支援を受けることについての動機づけを確認する。
- ③ クライエントの問題に関連する情報を初回で漏れなく収集する。
- ④ 客観的な情報収集に努めながら、クライエントの語りを共感的に聴く。
- ⑤ クライエントの問題の心理的要因だけではなく、生物的要因や社会的要因についても評価する。

問39 H. Gardner が多重知能理論で指摘した知能に含まれるものとして、不適切なものを1つ選べ。

- ① 空間的知能
- ② 言語的知能
- ③ 実用的知能
- ④ 対人的知能
- ⑤ 論理数学的知能

問40 職場の心理専門職として管理監督者研修を行うこととなった。研修内容に盛り込む内容として、不適切なものを1つ選べ。

- ① セルフケアの方法
- ② 労働者からの相談対応
- ③ 代表的な精神疾患の診断法
- ④ 職場環境などの評価及び改善の方法
- ⑤ 健康情報を含む労働者の個人情報の保護

問41 睡眠薬に認められる副作用として、通常はみられないものを1つ選べ。

- ① 奇異反応
- ② 前向性健忘
- ③ 反跳性不眠
- ④ 持ち越し効果
- ⑤ 賦活症候群〈アクティベーション症候群〉

問42 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐待防止法〉について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 市町村は、高齢者を虐待した養護者に対する相談、指導及び助言を行う。
- ② 養護者又は親族が高齢者の財産を不当に処分することは虐待に該当する。
- ③ 国民には、高齢者虐待の防止や養護者に対する支援のための施策に協力する責務がある。
- ④ 警察署長は、高齢者の身体の安全の確保に万全を期するために、市町村長に援助を求めなければならない。
- ⑤ 身体に重大な危険が生じている高齢者虐待を発見した者は、速やかに、そのことを市町村に通報しなければならない。

問43 口唇裂口蓋裂、皮膚血管腫、熱傷などによる可視的差違がもたらす心理社会的問題について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 家族への依存性が強くなるため、社会的ひきこもりとなることが多い。
- ② 可視的差違は、子どもの自尊感情の低下を招くリスク要因にはならない。
- ③ 可視的差違を有する子どもの多くは、年齢に応じた心理社会的発達を遂げることが難しい。
- ④ 家族や友人だけではなく、広く社会一般の反応や受容の在り方は、子どもが可視的差違に適応していくに当たり重要な要因となる。

問44 ナラティブ・アプローチに基づく質問として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① その出来事が起こったとき、どのような考えが頭をよぎりましたか。
- ② 今話されていたことですが、それを今ここで感じることはできますか。
- ③ その罪悪感は、どのようにお母さんとの関係を邪魔しているのですか。
- ④ 寝ている間に問題が全て解決したとしたら、どのように目覚めると思えますか。

問45 心理療法やカウンセリングの効果研究の方法について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 要因統制に基づく実験的な研究であることが必須である。
- ② 一事例実験にみられる介入効果を評価する場合には、因子分析が用いられることが多い。
- ③ 特定の心理療法を行う実験群と未治療の統制群を設定して、効果の比較を行う必要がある。
- ④ メタ分析では、ある介入法に基づく複数の効果研究について、効果サイズを算出することができる。

問46 合理的配慮について、適切なものを1つ選べ。

- ① 公平性の観点から、入学試験は合理的配慮の適用外である。
- ② 合理的配慮の対象は、障害者手帳を持っている人に限られる。
- ③ 合理的配慮によって取り除かれるべき社会的障壁には、障害者に対する偏見も含まれる。
- ④ 発達障害児がクールダウンするために部屋を確保することは、合理的配慮には含まれない。

問47 知覚や意識について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 共感覚は、成人より児童に生じやすい。
- ② 幻覚は、意識清明時にも意識障害時にも生じる。
- ③ 入眠時幻覚がみられる場合は、統合失調症が疑われる。
- ④ 事故などで、四肢を急に切断した場合、ないはずの四肢の存在を感じることがある。

問48 「心の理論」について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 自他の心の在りようを理解し把握する能力である。
- ② 標準誤信念課題によって獲得を確認することができる。
- ③ D. Premack がヒトの幼児の発達研究を通して初めて提案した。
- ④ 「信念－欲求心理学」の枠組みに基づき、人々の行動を予測すると考えられている。

問49 2018年(平成30年)の高齢者による犯罪について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 刑務所入所時点で65歳以上である女性の罪名の80%以上が窃盗である。
- ② 刑法犯による検挙人員中に占める65歳以上の者の比率は、約10%である。
- ③ 刑法犯による検挙人員中に占める65歳以上の者の比率を男女別で比較した場合、男性よりも女性の方が大きい。
- ④ 窃盗による検挙人員の人口に占める比率を、20歳以上65歳未満と65歳以上とで比較した場合、後者の方が大きい。

問50 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 裁判官は、精神障害者又はその疑いのある被告人に無罪又は執行猶予刑を言い渡したときは、その旨を都道府県知事に通報しなければならない。
- ② 警察官は、精神障害のために自傷他害のおそれがあると認められる者を発見したときは、最寄りの保健所長を経て都道府県知事に通報しなければならない。
- ③ 保護観察所の長は、保護観察に付されている者が精神障害者又はその疑いのある者であることを知ったときは、その旨を都道府県知事に通報しなければならない。
- ④ 矯正施設の長は、精神障害者又はその疑いのある者を釈放、退院又は退所させようとするときは、あらかじめその収容者の帰住地の都道府県知事に通報しなければならない。

問51 入院患者が公認心理師の面接を受けるために、病棟の面接室に車椅子で入室した。車椅子から面接室の椅子に移乗する際に看護師と公認心理師が介助したが、車椅子から転落した。健康被害は起こらなかった。

それを診断した主治医の他に、インシデントレポートの作成者として、適切なものを 2つ 選べ。

- ① 看護師
- ② 病院長
- ③ 公認心理師
- ④ 病棟看護師長
- ⑤ 医療安全管理責任者

問52 DSM-5 の全般不安症／全般性不安障害の症状について、正しいものを 2つ 選べ。

- ① 易怒性
- ② 抑うつ
- ③ 強迫念慮
- ④ 社交不安
- ⑤ 睡眠障害

問53 被害者支援の制度について、正しいものを2つ選べ。

- ① 被害者支援センターは、法務省が各都道府県に設置している。
- ② 受刑者の仮釈放審理に当たって、被害者は意見を述べることができる。
- ③ 財産犯の被害に対して、一定の基準で犯罪被害者等給付金が支給される。
- ④ 刑事事件の犯罪被害者は、裁判所に公判記録の閲覧及び謄写を求めることができる。
- ⑤ 日本司法支援センター〈法テラス〉は、被疑者・被告人がしょく罪の気持ちを表すための寄附を受けない。

問54 トラウマや心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉に関連するものとして、適切なものを2つ選べ。

- ① PTSD の生涯有病率は、男性の方が高い。
- ② PTSD 関連症状に、薬物療法は無効である。
- ③ 心的外傷的出来事による身体的影響は少ない。
- ④ 治療開始の基本は、クライアントの生活の安全が保障されていることである。
- ⑤ 複雑性 PTSD は、複数の、又は長期間にわたる心的外傷的出来事への暴露に関連する、より広範囲の症状を示す。

問55 少年鑑別所が法務少年支援センターという名称を用いて行う地域援助について、正しいものを2つ選べ。

- ① 公認心理師が、相談を担当する。
- ② 必要に応じて心理検査や知能検査を実施する。
- ③ 相談対象は、未成年、その保護者及び関係者に限られる。
- ④ 学校や関係機関の主催する研修会や講演会に職員を講師として派遣する。
- ⑤ 個別の相談は、保護観察所内に設置されている相談室で行うことを原則とする。

問56 学校保健安全法及び同法施行規則について、正しいものを2つ選べ。

- ① 通学路の安全点検について、学校は一義的な責務を有する。
- ② 児童生徒等の健康診断を毎年行うかどうかは、学校長が定める。
- ③ 学校においては、児童生徒等の心身の健康に関し、健康相談を行う。
- ④ 市町村の教育委員会は、翌学年度の入学予定者に就学時の健康診断を行う。
- ⑤ 児童生徒等の健康診断の結果が児童生徒と保護者に通知されるのは、30日以内と定められている。

問57 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律〈男女雇用機会均等法〉に規定されているセクシュアル・ハラスメントについて、正しいものを2つ選べ。

- ① 業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことを強制すること
- ② 異性に対して行われるものであって、同性に対するものは含まないこと
- ③ 職場において行われる性的な言動により、労働者の就業環境が害されること
- ④ 業務上の合理性がなく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと
- ⑤ 職場での性的な言動に対して、労働者が拒否的な態度をとったことにより、当該労働者がその労働条件につき不利益を受けること

問58 公認心理師を養成するための実習で学ぶ際に重視すべき事項として、適切なものを2つ選べ。

- ① 自らの訓練や経験の範囲を超えたクライアントも積極的に引き受けるようにする。
- ② 実習で実際のクライアントに援助を提供する場合には、スーパービジョンを受ける。
- ③ 実習で担当したクライアントに魅力を感じた場合には、それを認識して対処するように努める。
- ④ 業務に関する理解や書類作成の方法を学ぶことよりも、クライアントへの援助技法の習得に集中する。
- ⑤ クライアントとのラポール形成が重要であるため、多職種との連携や地域の援助資源の活用に注目することは控える。

問59 石けんの香りが机を清潔に保とうとする行動に影響を与えるかについて実験を行った。香りあり条件と香りなし条件を設けて、机の上の消しぐずを掃除する程度を指標として検討した。その結果、全体的には香りあり条件と香りなし条件の差が検出されなかったが、尺度で測定された「きれい好き」得点が高い群は、全体として「きれい好き」得点が高い群よりもよく掃除をした。さらに、高い群では香りあり条件と香りなし条件の差は明瞭でなかったが、低い群では、香りあり条件が香りなし条件よりも掃除をする傾向が顕著に観察された。

この実験の結果の理解として、正しいものを1つ選べ。

- ① 交互作用はみられなかった。
- ② 実験要因の主効果は有意であった。
- ③ 「きれい好き」要因の主効果は有意ではなかった。
- ④ 実験要因の主効果と交互作用が有意であった可能性が高い。
- ⑤ 「きれい好き」要因の主効果と交互作用が有意であった可能性が高い。

問60 15歳の女子A、中学3年生。Aが人の目が怖くて教室に入れないということで、学校からの勧めもあり、公認心理師Bがいる市の相談センターに母親Cから相談申込みの電話があった。Cの話によると、学校ではいじめなどの大きな問題はないが、1か月前から不登校状態が続いているという。母子並行面接ということで受理し、面接を行うことになった。インテーク面接当日、Aは、担当であるBとの面接が始まる際に、Cとの分離に不安を示した。インテーク面接の最中も、Aの緊張は高く、なかなか自分の状態について語るができなかった。

Bが行うインテーク面接とその後の初期対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① AとCとの関係性が面接に影響するため、母子同室面接は行わない。
- ② Aが未成年であるため、Aの在籍校にはAが来所したことを報告する。
- ③ 人の目が怖い理由や原因についてAに尋ね、まずはそれを意識化させる。
- ④ 面接に期待していることをAに尋ね、Bが最善の努力をすることを伝える。
- ⑤ 言語面接が可能である場合、身体に作用するリラクセーション技法は用いない。

問61 30歳の男性 A、自営業。A は独身で一人暮らし。仕事のストレスから暴飲暴食をすることが多く、最近体重が増えた。このままではいけないと薄々感じていた A は、中断していたジム通いを半年以内に再開すべきかどうかを迷っていた。その折、A は健康診断で肥満の指摘を受けた。

J. O. Prochaska らの多理論統合モデル〈Transtheoretical Model〉では、A はどのステージにあるか。最も適切なものを1つ選べ。

- ① 維持期
- ② 実行期
- ③ 準備期
- ④ 関心期(熟考期)
- ⑤ 前関心期(前熟考期)

問62 30歳の女性A、会社員。Aは、精神科病院において入院治療を受けている。20代後半より抑うつエピソードを繰り返していたが、医療機関の受診歴はなかった。入院の1か月ほど前から口数が多くなり、卒業後交流のなかった高校時代の友人たちに電話やメールで連絡を取るようになった。衝動的な買い物が増え、職場での尊大な態度が目立つようになった。心配した家族の支援で入院となり、1か月が経過した。症状は改善しつつあるが、依然として口数は多く、睡眠は不安定である。Aは、仕事を休んでいることへの焦りを主治医に訴えている。

この時点での公認心理師のAへの支援として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 障害年金制度について情報を提供する。
- ② 幼少期の体験に焦点を当てた心理面接を行う。
- ③ 会社の同僚に対する謝罪の文章をAと一緒に考える。
- ④ 毎日の行動記録を表に付けさせるなどして、生活リズムの安定を図る。
- ⑤ Aの同意を得て、復職の時期について職場の健康管理スタッフと協議する。

問63 45歳の男性 A、市役所職員。A は上司の勧めで健康管理室を訪れ、公認心理師 B が対応した。A の住む地域は 1 か月前に地震により被災し、A の自宅も半壊した。A は自宅に居住しながら業務を続け、仮設住宅への入居手続の事務などを担当している。仮設住宅の設置が進まない中、勤務はしばしば深夜に及び、被災住民から怒りを向けられることも多い。A は「自分の態度が悪いから住民を怒らせてしまう。自分が我慢すればよい。こんなことで落ち込んでいられない」と語る。その後、A の上司から B に、A は笑わなくなり、ぼんやりしていることが多いなど以前と様子が違うという連絡があった。

この時点の B の A への対応として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① A の上司に A の担当業務を変更するように助言する。
- ② A の所属部署職員を対象として、ロールプレイを用いた研修を企画する。
- ③ 災害時健康危機管理支援チーム〈DHEAT〉に情報を提供し、対応を依頼する。
- ④ A に 1 週間程度の年次有給休暇を取得することを勧め、A の同意を得て上司に情報を提供する。
- ⑤ A に健康管理医〈産業医〉との面接を勧め、A の同意を得て健康管理医〈産業医〉に情報を提供する。

問64 1歳半の男児 A。母親 B が A の高熱とけいれん発作を訴えて、病院に来院し、A は入院することとなった。これまでに複数の病院に通院したが、原因不明とのことであった。B は治療に協力的で献身的に付き添っていたが、通常の治療をしても A は回復しなかった。B は片時も A から離れずに付き添っていたが、点滴管が外れたり汚染されたりといった不測の事態も生じた。ある日突然、A は重症感染症を起こし重篤な状態に陥った。血液検査の結果、大腸菌など複数の病原菌が発見された。不審に思った主治医が B の付き添いを一時的に制限すると、A の状態は速やかに回復した。

A の状態と関連するものとして、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① 医療ネグレクト
- ② 乳児突然死症候群
- ③ 乳幼児揺さぶられ症候群
- ④ 反応性アタッチメント障害
- ⑤ 代理によるミュンヒハウゼン症候群

問65 9歳の男児 A、小学3年生。Aは、学校でけんかした級友の自宅に放火し、全焼させた。負傷者はいなかった。Aはこれまでも夜間徘徊で補導されたことがあった。学校では、座って授業を受けることができず、学業成績も振るわなかった。他児とのトラブルも多く、養護教諭には、不眠や食欲不振、気分の落ち込みを訴えることもあった。Aの家庭は、幼少期に両親が離婚しており、父親 B と二人暮らしである。家事は A が担っており、食事は自分で準備して一人で食べるが多かった。時折、B からしつけと称して身体的暴力を受けていた。

家庭裁判所の決定により、A が入所する可能性が高い施設として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自立援助ホーム
- ② 児童自立支援施設
- ③ 児童心理治療施設
- ④ 児童発達支援センター
- ⑤ 第三種少年院(医療少年院)

問66 13歳の男子 A、中学1年生。Aの学校でのテストの成績は中程度よりもやや上に位置している。試験に対しては出題される範囲をあらかじめ学習し、試験に臨む姿もよくみられる。しかし、その試験を乗り切ることだけを考え、試験が終わると全てを忘れてしまう質の低い学習をしているように見受けられる。勉強に対しても、ただ苦痛で面白くないと述べる場面が目につき、学習した内容が知識として定着していない様子も観察される。

現在の A の状況の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① リテラシーが不足している。
- ② メタ記憶が十分に発達していない。
- ③ 深化学習や発展学習が不足している。
- ④ 機械的暗記や反復練習が不足している。
- ⑤ 具体的操作期から形式的操作期へ移行できていない。

問67 21歳の男性A。Aは実母Bと二人暮らしであった。ひきこもりが
ちの無職生活を送っていたが、インターネットで知り合った人物から覚
醒剤を購入し、使用したことが発覚して有罪判決となった。初犯であ
り、BがAを支える旨を陳述したことから保護観察付執行猶予となっ
た。

保護観察官がAに対して行う処遇の在り方として、最も適切なもの
を1つ選べ。

- ① 自助の責任を踏まえつつ、Aへの補導援護を行う。
- ② Bに面接を行うことにより、Aの行状の把握に努める。
- ③ Aが一般遵守事項や特別遵守事項を遵守するよう、Bに指導監督を依
頼する。
- ④ 改善更生の在り方に問題があっても、Aに対する特別遵守事項を変
更することはできない。
- ⑤ 就労・覚醒剤に関する特別遵守事項が遵守されない場合、Aへの補
導援護を行うことはできない。

問68 32歳の女性A、会社員。Aは、感情の不安定さを主訴に社内の心理相談室に来室し、公認心理師Bが面接した。職場で良好な適応状況にあったが、2か月前から動悸をしばしば伴うようになった。その後、異動してきた上司への苛立ちを強く自覚するようになり、ふとしたことで涙が出たり、これまで良好な関係であった同僚とも衝突することがあった。最近では、緊張して発汗することがあり、不安を自覚するようになった。

Bが優先的に行うべきAへの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 休職を勧める。
- ② 瞑想を教える。
- ③ 認知行動療法を勧める。
- ④ 医療機関の受診を勧める。
- ⑤ カウンセリングを導入する。

問69 16歳の女子A、高校1年生。Aは、食欲不振、るい瘦のため1週間前から入院中である。高校に入学し、陸上部に入部した後から食事摂取量を減らすようになった。さらに、毎朝6時から走り込みを始めたところ、4か月前から月経がなくなり、1か月前から倦怠感を強く自覚するようになった。入院後も食事摂取量は少なく、「太ると良い記録が出せない」と食事を摂ることへの不安を訴える。中学校までは適応上の問題は特になく、学業成績も良好であった。自己誘発嘔吐や下剤の乱用はない。身長は159 cm、体重は30 kg、BMIは11.9である。

公認心理師のAへの支援として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 食事へのこだわりを外在化する。
- ② Aの家族に治療への参加を促す。
- ③ 部活動への葛藤について傾聴する。
- ④ 栄養士の助力を得て食事日記を付けることを勧める。
- ⑤ 点滴を受けて、栄養状態を速やかに改善するように勧める。

問70 72歳の男性A。Aは、高血圧症で通院している病院の担当医に物忘れが心配であると相談した。担当医の依頼で公認心理師Bが対応した。Aは、1年前より徐々に言いたいことがうまく言葉に出せず、物の名前が出てこなくなった。しかし、日常生活に問題はなく、趣味の家庭菜園を楽しみ、町内会長の役割をこなしている。面接時、軽度の語健忘はみられるが、MMSEは27点であった。2か月前の脳ドックで、頭部MRI検査を受け、軽度の脳萎縮を指摘されたという。

BのAへの助言として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 高血圧症の治療を続けてください。
- ② 栄養バランスのとれた食事を心がけてください。
- ③ 運動習慣をつけて毎日体を動かすようにしてください。
- ④ 生活習慣病の早期発見のために定期的に健診を受けてください。
- ⑤ 認知症の予防に有効なお薬の処方について、医師に相談してください。

問71 22歳の男性 A、大学4年生。Aは12月頃、就職活動も卒業研究もうまくいっていないという主訴で学生相談室に来室した。面接では、気分が沈んでいる様子で、ポツリポツリと言葉を絞り出すような話し方であった。「就職活動がうまくいかず、この時期になっても1つも内定が取れていない。卒業研究も手につかず、もうどうしようもない」と思い詰めた表情で語っていた。指導教員からも、日々の様子からとても心配しているという連絡があった。

Aの自殺のリスクを評価する際に優先的に行うこととして、不適切なものを1つ選べ。

- ① 絶望感や喪失感などがあるかどうかを確認する。
- ② 就職活動の方向性が適切であったかどうかを確認する。
- ③ 現在と過去の自殺の念慮や企図があるかどうかを確認する。
- ④ 抑うつ状態や睡眠の様子など、精神的・身体的な状況を確認する。
- ⑤ 就職活動や卒業研究の現状を、家族や友人、指導教員に相談できているかどうかを確認する。

問72 8歳の男児 A、小学2年生。授業についていけないという保護者からの主訴で、児童精神科クリニックを受診した。家庭生活では問題なく、勉強も家で教えればできるとのことであった。田中ビネー知能検査ではIQ 69、Vineland-IIでは、各下位領域のv評価点は9～11であった。

Aの評価として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 知的機能が低く、適応行動の評価点も低いため、知的能力障害の可能性が高い。
- ② 知的機能は低いが、適応行動の評価点は平均的であるため、知的能力障害の可能性は低い。
- ③ 保護者によると、家庭生活では問題ないとのことであるが、授業についていけないため、学習障害の可能性が高い。
- ④ 保護者によると、勉強も家で教えればできるとのことであるが、授業についていけないため、学校の教授法に問題がある可能性が高い。

問73 25歳の男性 A、会社員。A は、上司 B と共に社内の相談室に来室した。入社2年目であるが、仕事をなかなか覚えられず、計画的に進めることも苦手で、B から繰り返し助言されているという。B によれば、同僚にタイミング悪く話しかけたり、他の人にとって当たり前の決まり事に気がつかなかったりすることもあり、職場の中でも煙たがられているという。会社以外での対人関係で困ることはない。この1 か月は早朝覚醒に悩まされ、起床時の気分も優れなかったため、会社を何日か休んだ。BDI-II の得点は42点、AQ-J の得点は35点であり、Y-BOCS の症状評価リストは1項目が該当した。

A に関する見立てとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 軽度抑うつ状態
- ② 強迫症／強迫性障害
- ③ 社交不安症／社交不安障害
- ④ 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉

問74 21歳の男性A、大学3年生。Aは将来の不安を訴えて、学生相談室を訪れ、公認心理師Bと面談した。Aは、平日は大学の授業、週末はボクシング部の選手として試合に出るなど、忙しい日々を送っていた。3か月前にボクシングの試合で脳震とうを起こしたことがあったが、直後の脳画像検査では特に異常は認められなかった。1か月前から、就職活動のためにOBを訪問したり説明会に出たりするようになり、日常生活がさらに慌ただしくなった。その頃から、約束の時間を忘れて就職採用面接を受けられなかったり、勉強に集中できずいくつかの単位を落としてしまったりするなど、失敗が多くなった。

BのAへの初期の対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 高次脳機能障害の有無と特徴を評価する。
- ② 医師による診察や神経学的な検査を勧める。
- ③ 不安症状に対して、系統的脱感作の手法を試みる。
- ④ 現在悩んでいることを共感的に聴取し、問題の経過を理解する。

問75 70歳の女性A。Aは最近、昼間の眠気が強くなったと訴える。夜間の睡眠は0時から6時頃までで変化はなく、毎日朝夕2回30分程度の散歩をしている。高血圧のため3年前から服薬しているが、血圧は安定しており、健診でもその他に問題はないと言われている。最近、就床すると、足に虫が這うように感じて眠れないことがある。昼間の眠気はあるが、何かをしていれば紛れる。週3回の編み物教室は楽しくて眠気はない。食欲はあり、塩分摂取に気をつけている。

Aへの睡眠衛生指導上の助言として、適切なものを2つ選べ。

- ① 散歩は、睡眠に良い効果があるので続けてください。
- ② 睡眠時間が足りないので早く床に就くようにしてください。
- ③ 昼間に何かをして眠気が紛れるのであれば心配はいりません。
- ④ 深く眠るために熱いお風呂に入ってすぐ寝るようにしてください。
- ⑤ 足の不快感のために眠れないことについては、医師に相談してください。

問76 5歳の男児 A。A は、実父からの身体的虐待が理由で、1 か月前に児童養護施設に入所した。A は、担当スタッフの勧めで同施設内に勤務する公認心理師 B の面談に訪れた。担当スタッフによると、A は、入所時から衝動性・攻撃性ともに高かった。施設内では、コップの水を他児 C にかけたり、他児 D を椅子で殴ろうとしたりするなど、A の暴力が問題となっていた。また寝つきが悪く、食欲にむらが見られた。B との面談で A は暴力の理由を「いつも僕が使っているコップを C が勝手に使ったから」「D が僕の手首を急に掴んだから」と語った。また、「夜眠れない」と訴えた。

B が初期に行う支援として、適切なものを 2 つ 選べ。

- ① 遊戯療法を速やかに導入し、A に心的外傷体験への直面化を促す。
- ② 受容的態度で A の暴力を受け入れるよう、担当スタッフに助言する。
- ③ コップ等の食器は共用であるというルールを指導するよう、担当スタッフに助言する。
- ④ A の様子を観察し、A が安心して眠れる方法を工夫するよう、担当スタッフに助言する。
- ⑤ 衝動性や攻撃性が高まる契機となる刺激ができるだけ生じないように、担当スタッフと生活環境の調整を検討する。

問77 24歳の女性A、小学5年生の担任教師。Aの学級は、前任からの担任教師の交代をきっかけに混乱した状態に陥った。Aの学級の複数の児童が、授業中の私語や立ち歩きなどの身勝手な行動をしていた。学級のその他の児童たちは知らん顔で、学習にはある程度取り組むものの、白けた雰囲気であった。Aは学級を立て直したいが、どうすればよいか分からない。

スクールカウンセラーがAに対してこの学級についてのコンサルテーションを行う際に、重視すべき事項として、適切なものを2つ選べ。

- ① 保護者の意見
- ② 児童の家庭環境
- ③ 個々の児童の学力
- ④ 学級のルールの定着
- ⑤ 教師と児童の人間関係

